

中学生の税についての 作文コンクール

✧ 全国納税貯蓄組合連合会優秀賞

✧ 銚子税務署長賞

✧ 銚子税務署管内納税貯蓄組合総連合会金賞



第二中学校
3年
岩井奈々さん

生まれ変わる旭市から

考えたこと

今年の旭市民七夕まつりの七夕パレードでは、私たちの吹奏楽部が当番となり、まちをマーチングしながら駅前広場へと向かいました。そこで演奏をすることになっていたので、駅前広場に到着して演奏をし、いざ使ってみると広くて使いやすいな、と便利さに気づきました。

私が小学生のころから、駅前広場や周辺の道を広くするなどの都市開発が行われています。その理由として、一つ考えられることは、駅から少し離れた県内多数の国保旭中央病院への交通の便を良くするためだと思います。そのことが、市内の活性化につながると思っています。

それには、税金が使われているそうです。前に祖母

からそのような話を聞いたことがあるのを思い出しました。祖母の話だと、その都市開発にかかわる費用は旭市の税金ですべてまかなっているのではなく、国から五割、県から四割、市から一割負担していると聞きました。この旭市のために、いろいろな人からの税金が使われているんだなと思うとともに、ありがたいなと思いました。道を広げるといっても、今まで建っていた家々の人々に協力してもらわなければ、道を広くする分の土地を買うことができません。その土地を買い、新しい家まで建てていくので、使われる税金も想像もつかないくらい金額だと思います。やはり、いろいろな人の協力がなければ、いくら税金があっても都市開発は進んでいかないだろうと思いました。駅が広くなったり、道が広くなったりする都市開発は、私たちの生活をより過ごしやすくしている、人と人とのつながりをつなげている、つまり、税金の使い場所というのを私は感じました。

最近のニュースや新聞等では、脱税や税金の無駄使いなどが、よく取り上げられていて問題となっています。まず、脱税をしている人のことを考えると、すべてに調和が取れていないような気がします。つまり、人間は動物と違い自給自足ではなく、すべての人々の仕事の役割分担があり、それぞれの中で、それぞれの人々に助けられて世の中が循環していると思うからです。つまり、税金を払わない人は、一方通行ではないといえます。しかし、このような人たちが、少しでも税金に対して考え実行してくれば、これからの日本は、いくらでも変われると思います。そんな少しの一人一人の意識が大切なのです。

私は将来、市の駅前周辺の恩返しのために一生懸命働いて、国の一員、市民の一員として、きちんと税金を納めたいです。一人だけが頑張るのではなく、国民全員で良い社会づくりの方法として税金問題に取り組んだ方が良いと思いました。

銚子税務署管内

納税貯蓄組合総連合会表彰

銀賞

◆ 私たちの為に

第二中学校三年 青柳梨乃さん

◆ 将来の日本を背負う僕達

第二中学校三年 伊藤幸嗣くん

◆ 「税金」という名の「根」

第二中学校三年 加瀬翔子さん

◆ 「税金を納める理由」

飯岡中学校三年 菱木亮輔くん

◆ 税について

海上中学校三年 在田知央くん

銅賞

◆ 税に支えられている私達

海上中学校三年 五喜田奈波さん

◆ アイスの五円

干潟中学校三年 椎名恵さん

◆ 身近な税

第一中学校三年 伊藤愛美さん

佳作

◆ 私たちの暮らしと税金

第一中学校三年 林佐弥香さん

◆ 納税はみんなの為、将来の為

干潟中学校三年 宮負竣くん

◆ 「初めて知った税金の大切さ」

飯岡中学校三年 石毛健太郎くん